

はなやぐ街。  
にぎわう場所。

INTRODUCING OUR SPECIALTY: ALWAYS  
INITIATING EVOLUTION, REDEFINING  
"GARDEN, EXTERIOR, AND CONTRACT,"  
AND MAKING EVERYONE SMILE.

# 第39期 中間事業報告書

2018年1月21日～2018年7月20日

株式会社タカシヨー

# 次世代の住環境を見据え、 新しい庭文化を創造する。

私たちタカショーグループは1980年創業以来、ガーデニング&エクステリアを心豊かな生活文化と捉え、“ハート&アート”を基本テーマに様々な庭空間を皆様にお届けしてまいりました。それは暮らしに新鮮な風を吹き込み、庭での暮らしに関わるすべての人々の笑顔を育むライフスタイルのご提案に他なりません。

日本の四季やわびさびの美学が息づく、静寂で凛とした和の庭園づくり。自然の鮮やかな色彩を楽しむ、華やかな洋のガーデニング。アジアとヨーロッパ

の文化が重なり合うニュージャパネスクの世界……。私たちは国内外に広がるグループネットワークを活かし、地球規模であらゆるエレメントを融合させて、既存の枠を超えた独自の世界を創り上げ、永く受け継がれる空間づくりを目指してまいります。

また“自然との共生による循環型社会の実現”も私たちの大きなテーマのひとつです。リーディングカンパニーとしての誇りと責任を胸に、商品づくりはもちろん、企業活動全体の姿勢としてグループ一丸となって環境対応に取り組んでまいります。

## Heart&Art



### 風 Wind

それは木々や草花を揺らし、季節を運び、人と自然を包みます。



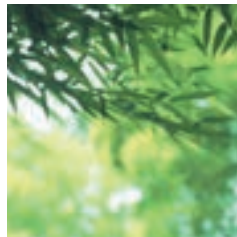
### 光 Light

それは世界を彩り、夢を織りなし、人と自然を照らします。



### 水 Water

それは生命を吹き込み、季節を充たし、人と自然を潤します。



### 緑 Green

それは大地に根ざし、大地を被い、人と自然を癒します。



### 心 Heart

五つのこだわりで、真心こめて、心がなごむ庭づくり

## 株主の皆様へ



代表取締役社長

高岡 伸夫

株主の皆様には、平素は格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

さてここに、2018年1月21日から2018年7月20日までの「第39期中間事業報告書」がまとまりましたので、ご報告させていただきます。

### ～さらなるグローバル化に向けて～

日頃は当社グループの経営にご理解を賜り厚く御礼申し上げます。

1980年に家庭日用品の日本一の生産地である和歌山県海南市に「株式会社タカショー」を設立し、地域に長く根付いた棕櫚用品である棕櫚縄から造園資材や園芸用品を販売、その後会社は新たな挑戦を繰り返し、今年の7月9日に東京証券取引所市場第一部に指定替えをさせていただきました。これも、株主様に長い間ご支援をいただいた賜物と、当社グループスタッフ一同感謝申し上げます。

東証一部指定後初めての半期決算において、経常利益は3億800万円と予算比134%、親会社株主に帰属する中間純利益は1億8,900万円と予算比154%の順調な数字でした。

要因としては、今年の夏の暑さにより日よけ用品が伸びたこと、またプロユースにおいて、大型エクステリア商品やエクステリアパッケージ、アートウッド、アートボードなど、競合他社との品質競争において評価を受け、順調に販売が伸びていることによるものです。

現場ですぐに取り付けられるエクステリアのパッケージ化と、現場に合わせて製造・提供できる「マス・カスタマイゼーション」の仕組みにより、建設現場の人手の解消につながります。また、建築作図の時に、住宅と庭の同時提案ができる画期的なシステムが

整ったことで、今後に期待していただけるのではと考えております。

さらなる継続投資で、今回の約10億円の公募増資の資金を活かしていきたいと考えております。

海外展開においては、先ずチェーンストアやガーデンセンターの一般消費者向けの市場から展開を進めております。ホームユースの国際市場は、アメリカのベジラグUSA(タカショー100%子会社)は大きく伸び、オーストラリアならびにイギリスの販売社とともに順調に伸ばしております。

そして、本年7月には、世界の3大市場と見ておりますインドにタカショーインディアを100%子会社として設立し、現地スタッフのもと始動いたします。

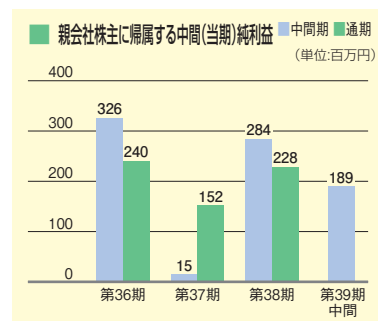
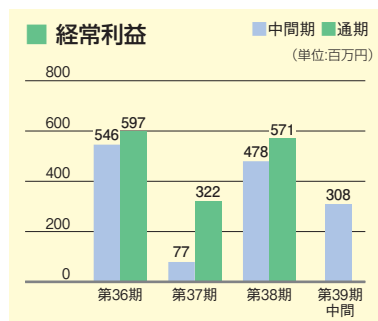
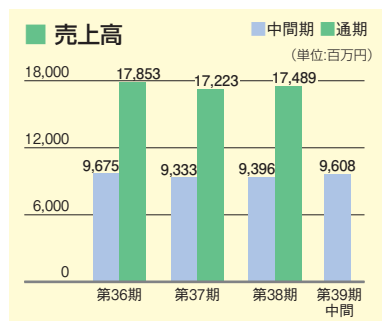
これだけの世界市場(日本含め)を展開するにあたり、先ずは供給元の工場が何よりも重要と考え、今までの中国の7万㎡の工場を10万㎡に増築し、世界最大のガーデン専用の工場を目指します。プロユースはその後を追いながら、徐々に世界市場への展開を進めております。

会社全体の考えは、「ガーデンを通じて、心身の健康と家族の笑顔のある暮らし」をテーマに積極的に経営を展開してまいります。

株主様におかれましては、今後ともますますのご指導・ご鞭撻の程よりしくお願い申し上げます。

# 財務ハイライト

		第36期 2016年1月期	第37期 2017年1月期	第38期 2018年1月期	第39期 2019年1月期 中間期
売上高	(百万円)	17,853	17,223	17,489	9,608
経常利益	(百万円)	597	322	571	308
親会社株主に帰属する 中間(当期)純利益	(百万円)	240	152	228	189
総資産	(百万円)	16,755	17,470	17,835	19,859
純資産	(百万円)	7,445	7,321	7,575	8,625
1株当たり中間(当期)純利益	(円)	19.63	12.39	18.59	15.19
自己資本利益率	(%)	3.2	2.1	3.1	2.4



# 中間連結財務諸表(要約)

## 連結貸借対照表

(単位:百万円)

科目	第39期中間 2018年7月20日現在	第38期 2018年1月20日現在
<b>●資産の部</b>		
流動資産	13,522	11,453
固定資産	6,336	6,381
有形固定資産	4,900	4,799
無形固定資産	360	392
投資その他の資産	1,075	1,189
<b>資産合計</b>	<b>19,859</b>	<b>17,835</b>
<b>●負債の部</b>		
流動負債	10,560	9,459
固定負債	672	799
<b>負債合計</b>	<b>11,233</b>	<b>10,259</b>
<b>●純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	1,820	1,307
資本剰余金	1,862	1,348
利益剰余金	4,413	4,347
自己株式	△ 26	△ 26
株主資本合計	8,069	6,977
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	74	90
繰延ヘッジ損益	45	△ 12
為替換算調整勘定	288	381
退職給付に係る調整累計額	60	50
その他の包括利益累計額合計	469	509
非支配株主持分	85	88
<b>純資産合計</b>	<b>8,625</b>	<b>7,575</b>
<b>負債純資産合計</b>	<b>19,859</b>	<b>17,835</b>

## 連結損益計算書

(単位:百万円)

科目	第39期中間 2018年1月21日から 2018年7月20日まで	第38期中間 2017年1月21日から 2017年7月20日まで
売上高	9,608	9,396
売上原価	5,453	5,212
<b>売上総利益</b>	<b>4,154</b>	<b>4,184</b>
販売費及び一般管理費	3,755	3,659
<b>営業利益</b>	<b>398</b>	<b>525</b>
営業外収益	44	41
営業外費用	134	88
<b>経常利益</b>	<b>308</b>	<b>478</b>
特別利益	0	—
特別損失	1	3
<b>税金等調整前中間(当期)純利益</b>	<b>307</b>	<b>474</b>
法人税、住民税及び事業税	153	160
法人税等調整額	△ 36	27
<b>中間(当期)純利益</b>	<b>189</b>	<b>286</b>
非支配株主に帰属する中間(当期)純利益	0	2
親会社株主に帰属する中間(当期)純利益	189	284

## 連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:百万円)

科目	第39期中間 2018年1月21日から 2018年7月20日まで	第38期中間 2017年1月21日から 2017年7月20日まで
営業活動によるキャッシュ・フロー	288	1,037
投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 310	△ 323
財務活動によるキャッシュ・フロー	1,118	△ 562
現金及び現金同等物に係る換算差額	△ 26	5
現金及び現金同等物の増減額	1,068	157
現金及び現金同等物の期首残高	2,587	2,129
現金及び現金同等物の中間期末(期末)残高	3,656	2,287

## Market

### ●環境への取り組み 地球環境や人へのやさしさを追求しています。



リサイクル  
(繰り返し使える)  
Recycle

リデュース  
(長持ちする)  
Reduce

リユース  
(部分的に再利用)  
Reuse

#### ▶3つのRへのこだわり

環境保全・再生に向けた環境産業への転換が地球環境再生への足がかりになると考えます。

#### ビオガーデン

人と自然とが共存しあえる、やすらぎのある水辺の空間をご提案しています。



#### 「eco×Garden」

「環境のために私たちができること」をテーマに、エコを意識して「環境に配慮すること」と、これからの「庭」のカタチを考えることをかけ合わせ、「eco×Garden(エコ・ガーデン)」として取り組みます。



#### ●物流システム

お客様の様々なニーズにお応えするため、物流拠点、物流システムの充実を目指しています。

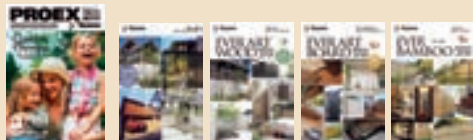


中央ロジスティックセンター

## プロユース

### PROガーデンエクステリア分野

戸建(新築、リフォーム)、ハウスメーカー様向け提案



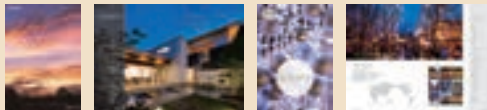
総合カタログ カテゴリーカタログ

### コントラクト分野

公共事業、商業施設等の非住宅向け提案

### LEDソリューション事業

屋外、屋内LED、イルミネーションの企画、販売



屋外照明  
カタログ

イルミネーション  
カタログ

## ホームユース

### ホームセンター、GMS事業

DIYで楽しめる商品を展開  
自社ブランド「GADIS」、「G-STYLE」、「G-STORY」

### e-コマース、通信販売

インターネットを通じて売買するe-コマース

### 海外 - 製造/販売/ネットワーク -

海外における製造拠点を中国に持ち、ヨーロッパ、イギリス、アメリカ、オーストラリア、インドなどグローバルに販売を展開

### ガーデンセンター - ガーデナーズジャパン -

ガーデニング先進国であるヨーロッパスタイルの売り場づくりや提案方法を取り入れたモデル店をオープン

庭PRO

GADIS

## HOT NEWS

# 東京証券取引所 市場第一部 上場!

株式会社タカショーは、2018年7月9日(月)をもちまして、東京証券取引所市場第二部から第一部銘柄に指定されました。

これもひとえに、株主の皆様の温かいご支援・ご協力の賜物と心より感謝申し上げます。今後も皆様方のご期待にお応えすべく、業容の拡大と企業価値の向上を目指す所存でございますので、引き続き変わらぬご支援を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。



東京証券取引所にて集合写真



チェッカーに映る社名



東京証券取引所にて打鐘

# TOPICS ▶▶▶

## ▶インドに子会社を設立

2018年7月18日（水）、インド・グジャラート州に「Takasho Garden Living India Private Limited」を設立しました。（タカショー出資比率：100%）

今後、さらなる国際市場の拡大において、インドは近年経済成長が堅調で有望な市場であり、都市に住む人口の所得が増加傾向にあることからライフスタイルへの要求も高まり、ガーデニングやエクステリアの需要が拡大しており、一般ユーザー向けの商材だけでなくプロユーザー向けの商材においても発展していくものと考えことから同地域のさらなる売上拡大を目的としております。



取り扱い商品イメージ

## ▶「ホームガーデン&エクステリア vol.4」を発刊

2018年7月31日（火）に庭をインテリアの延長として、さらにもう一つのリビング空間として豊富な実例と多彩なアイデアやエクステリア製品の提案、快適な庭での暮らしを実現するための実例やアイデアを掲載した「ホームガーデン&エクステリア vol.4」を発刊いたしました。

住宅の新築などで初めて庭づくりに挑戦する人はもちろん、既存の庭のリフォーム、リガーデンを検討している人にも役立つ内容を盛り込みました。庭づくりの流れを把握し、不明点や心配ごとをクリアにして、素敵なガーデンライフの実現にお役立ていただける内容となっております。





## ■ 第38期 定時株主総会／ガーデン交流会

2018年4月14日(土)にタカショー本社にて「第38期定時株主総会」を開催いたしました。

株主総会では事業報告があり、議案について慎重に審議された結果、原案どおり承認可決されました。

そして、株主総会終了後、和歌山会場はタカショー本社(和歌山県海南市)にて、東京会場は、「タカショー首都圏営業所」(埼玉県戸田市)にて「ガーデン交流会」を開催し多くの株主様にご参加いただきました。また、両会場とも寄せ植えを体験できるセミナーを開催し、タカショーが運営するガーデンセンター「GARDENER'S JAPAN」の中野店長から、寄せ植えのテクニックなどをお伝えしました。



株主総会の様子



東京会場寄せ植えセミナーの様子

## ■ 新株式発行および株式売出しによる発行済株式総数の推移

この度の新株式発行による資金調達は、当社販売支援システムの導入や建材関連および園芸資材の生産設備導入のための当社連結子会社への融資に充当する予定であり、当社グループの中長期的な成長および収益力の強化が期待されます。また、有利子負債ではなく増資による資本増強を行うことで、知名度の向上、優秀な人材の確保に努め、強固な経営基盤を確立していきたいと考えております。

### 発行済株式総数と資本金の額の推移

増資前の発行済株式総数 (2018年1月20日時点)	12,379,814 株	資本金の額	1,307,776,000 円
公募増資による増加株式数 (2018年7月6日)	2,000,000 株	増加する資本金の額	446,160,000 円
公募増資後の発行済株式総数	14,379,814 株	増加後の資本金の額	1,753,936,000 円
第三者割当増資による増加株式数 (2018年7月18日)	300,000 株	増加する資本金の額	66,924,000 円
第三者割当増資後の発行済株式総数	14,679,814 株	増加後の資本金の額	1,820,860,000 円

# 会社の概要／株式の状況 (2018年7月20日現在)

## 会社の概要

商号	株式会社タカショー TAKASHO CO.,LTD.
本社	和歌山県海南市南赤坂20番地1
設立	昭和55年8月
資本金	1,820,860,000円
従業員	312名(119名) ※注( )は臨時雇用者数であります。
事業内容	環境エクステリア(インドアおよびアウトドア庭園、緑化)に関する製品の企画開発・ガーデン用品の輸出入販売・エクステリア商品のソフトウェア開発販売・CAD,C.G.ソフトウェアの提供および処理業務

## 役員

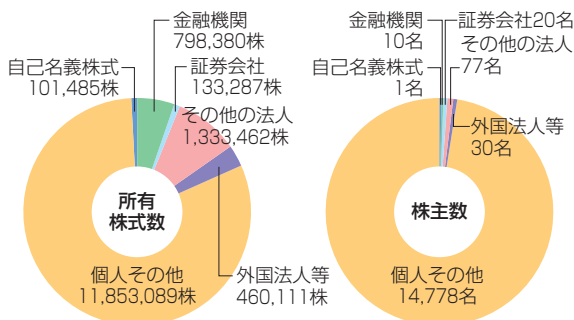
代表取締役社長	高岡 伸夫	監査役(常勤)	平松 昇
取締役	高岡 淳子	監査役(社外)	嶋津 裕介
取締役	寒川 浩	監査役(社外)	水城 実
取締役	宮本 和紀		
取締役(社外)	山田 拓幸		
取締役(社外)	百瀬 伸夫		

## 株式の状況

発行可能株式総数	26,000,000株
発行済株式の総数	14,578,329株 (自己株式101,485株を除く。)
株主数	14,916名
大株主(上位10名)	

株主名	持株数
高岡伸夫	2,090 千株
株式会社タカオカ興産	850
タカショー社員持株会	587
株式会社紀陽銀行	242
株式会社三菱UFJ銀行	194
橋本総業ホールディングス株式会社	169
BNY GCM CLIENT ACCOUNT JPRD AC ISG (FE-AC)	145
MSIP CLIENT SECURITIES	137
高岡淳子	135
吉田茂雄	122

## 株式分布状況



## 株主メモ

事業年度 1月21日から翌年1月20日まで  
 決算日 1月20日  
 配当金 1月20日現在の株主、中間配当実施のときは7月20日現在の株主に、それぞれ配当します。  
 定時株主総会 4月

### 【株式に関する住所変更等のお届出およびご照会について】

証券会社に口座を開設されている株主様は、住所変更等のお届出およびご照会は、口座のある証券会社宛てにお願いいたします。証券会社に口座を開設されていない株主様は、右記の電話照会先にご連絡ください。

株主名簿管理人および  
 特別口座の口座管理機関 東京都千代田区丸の内一丁目4番1号  
 三井住友信託銀行株式会社  
 株主名簿管理人 大阪市中央区北浜四丁目5番33号  
 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部  
 事務取扱場所 証券代行部  
 (郵便物送付先) 〒168-0063  
 東京都杉並区和泉二丁目8番4号  
 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部

(電話照会先) 0120-782-031

(インターネット) <https://www.smtb.jp/personal/agency/index.html>  
 ホームページURL <http://takasho.co.jp>

### 【特別口座について】

株券電子化前に「ほぶり」(株式会社証券保管振替機構)を利用されていなかった株主様には、株主名簿管理人である左記の三井住友信託銀行株式会社に口座(特別口座といひます。)を開設いたしております。特別口座についてのご照会および住所変更等のお届出は、上記の電話照会先をお願いいたします。

公告方法 当社のホームページに記載する。  
<http://takasho.co.jp>

ただし電子公告によることが出来ない事故その他やむを得ない事由が生じたときは、日本経済新聞に掲載します。

上場証券取引所 東京証券取引所 市場第一部

# タカショーの事業展開

独自の商品開発力でガーデニング市場をリード

## Global Network

From Kainan

### 海外タカショーグループ

天津高秀国際工貿有限公司	広州オフィス
佛山市南方高秀花園製品有限公司	上海オフィス
上海高秀園芸建材有限公司	コリアオフィス
満洲里高秀木業有限公司	ベトナムオフィス
江西高秀進出口貿易有限公司	EUオフィス
九江高秀園芸製品有限公司	シドニーオフィス
浙江正特高秀園芸建材有限公司	
ベジトラグUK	
ベジトラグEU	
ベジトラグUSA	
タカショーオーストラレイジア	
タカショーインド	

### 海外販売

- |       |           |         |          |
|-------|-----------|---------|----------|
| ●アメリカ | ●ドイツ他EU諸国 | ●イギリス   | ●中国      |
| ●韓国   | ●台湾       | ●シンガポール | ●オーストラリア |
| ●インド  |           |         |          |

### 海外提携

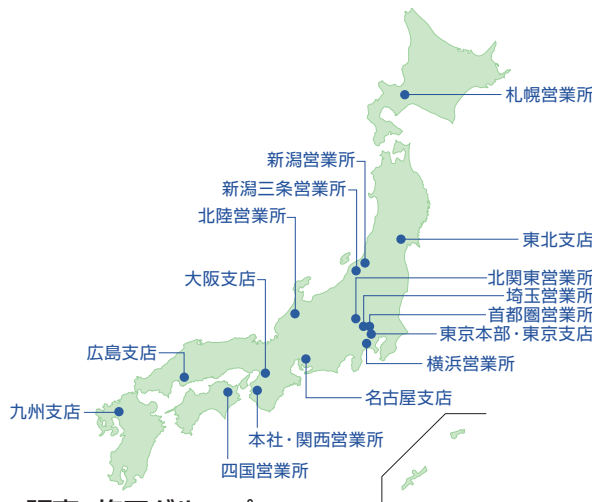
- |       |          |       |       |
|-------|----------|-------|-------|
| ●アメリカ | ●イギリス    | ●イタリア |       |
| ●オランダ | ●ドイツ     | ●スペイン |       |
| ●ブラジル | ●オーストラリア | ●台湾   | ●ベトナム |



## TAKASHO

本社には国内外からのマーケティング情報を集約するとともに、プランニング機能、物流システム開発から品質管理、人材開発、お客様支援サービスの整備に至るまでのコア機能を集約させ、世界のグループネットワークを動かしています。

### 国内タカショーグループ



### 販売・施工グループ

#### トーコー資材株式会社

- ガーデン、園芸用品の販売、施工
- 当社商品の販売、施工、展示場

#### ガーデンブラン

#### 株式会社青山ガーデン

- ガーデンエクステリアにおけるデザインソフトの販売
- ガーデニングに関するセミナーおよび教育
- ガーデン用品に関するオリジナル通販およびギフト販売

### 生産グループ

#### ガーデンクリエイイト株式会社

- エバーアートウッドの製造
- エバーアートウッド関連商品の製造
- エバーアートボード関連商品の製造
- エバーバンブーフエンスの製造
- 人工竹製品の加工・組立
- 天然竹製品の加工・組立
- 商品開発および改良
- 輸入製品の品質管理

#### 徳島ガーデンクリエイイト株式会社

- エバーアートボードの製造
- エバーバンブーボードの製造
- 人工竹の製造ならびに加工・組立

#### 株式会社ガーデンクリエイイト関東

- エバーアートウッドの製造
- エバーアートウッド関連商品の製造
- エクステリア関連商品の製造

#### 株式会社タカショーデジテック

- LEDサインの企画・設計・製造・販売
- 屋外照明の企画・設計・製造・販売
- イルミネーションの企画・販売

# 株主優待制度

 2019年1月20日より、当社株主優待制度は以下の内容に変更となります。

## 新株主優待制度

**1 株主優待ポイントの進呈**  
(ポイント数に応じて、様々な商品をお選びいただけます。)



(ポイント表)

保有株式数		進呈ポイント数	ポイント進呈時期
以上	未満		
500株	700株	3,000ポイント	毎年1月20日
700株	900株	4,000ポイント	
900株	1,000株	5,000ポイント	
1,000株	2,000株	8,000ポイント	
2,000株	3,000株	18,000ポイント	
3,000株	4,000株	35,000ポイント	
4,000株	5,000株	50,000ポイント	
5,000株		60,000ポイント	

**2 株主様特別  
販売カタログ**  
をお届け  
(年2回発送)



**3 タカショー  
オリジナル  
カレンダー  
プレゼント**  
(年1回発送)



詳細はこちら

ホームページ「株主優待制度」 [http://takasho.co.jp/investor\\_others](http://takasho.co.jp/investor_others)

特設サイト「タカショープレミアム優待倶楽部」 <https://takasho.premium-yutaiclub.jp/pre>

やすらぎのある空間づくり

**株式会社タカショー** 本社 和歌山県海南市南赤坂20-1 〒642-0017

TEL 073-482-4128 (代表) FAX 073-486-2560 (代表) ホームページ <http://takasho.co.jp>

